

社会福祉法人 照島会

令和5年度 事業実施報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、国内では対ドルでの円安が続き、本年4月には外国為替市場で一時160円台を付けるなど、34年ぶりの円安ドル高水準となりました。歴史的な円安水準が続いており輸入食品やエネルギーの価格上昇を招くことで消費者の生活を圧迫することが懸念されています。照島会の各事業所においても食材・食品やエネルギー等の価格が高騰し、その影響が及びました。

このような状況を受け本年度4月及び12月に鹿児島県老人福祉施設協議会では鹿児島県知事・鹿児島県議会議長及びいちき串木野市長に対し「物価高騰に対する高齢者福祉・介護施設等への支援について」の要望書を提出しました。その結果、物価高騰に対する県及び市の補助制度により補助金が交付され、その影響は緩和されました。

又、人材不足・待機者減少・利用者減少など大変厳しい状況は続いており、このような環境の中にあっても、提供するサービスの質の向上を図るため外部講師による「接遇マナー研修」を実施しました。

又、令和6年4月の特別養護老人ホーム創立50周年に向け、記念祝賀会の実施と記念誌発刊のための準備作業を行いました。

経営状況については、退職職員の補充採用がスムーズに進まず、人員不足の時期もあったため人件費は大幅に減少し、又、令和4年度中に1件の借入金を完済したことで660万円の経費減もあったため、物価高騰による経費増の中でも資金収支上では前年度と比較して2200万円の収支が改善し、19万円の赤字となりました。損益計算上では、建物附属設備の減価償却費が令和4年度で終わったことも重なり2360万円の収支改善となりました。

ただし、これだけの収支改善でも資金収支上、損益計算上いずれも赤字であり、法人全体でピーク時より2000万円減少している収入を改善させることが今後の大きな課題であります。

本 部

1. 退職職員

尾原博行(特養相談員) 吉國淳子(特養介護士) 松下蘭(特養介護士)
尾高理恵(特養介護士) 尾仲圭一郎(特養介護士) 古園めぐみ(特養介護士)
前潟慶子(特養調理員) 入来洋子(特養介護士) 平川ひなた(特養介護士)
小松豊子(特養介護士) 西川はるみ(デイ介護士) 田中貴子(支援・ケアマネ)
以上12名

2. 新規採用職員

大神明美(特養介護士) 高橋雅浩(特養介護士) 飯野鈴菜(特養介護士)
西田龍星(特養介護士) 川口奈瑠美(特養介護士) 藤田麻紀(特養看護師)
前迫麻柚(デイ介護士) 池田晃(特養調理員) 阿久井幸博(特養嘱託職員)
寺園直美(特養介護士) 以上10名

特別養護老人ホーム

特養では、新型コロナウイルスが感染法上「5類」に引き下げられたことから、感染防止対策の徹底を図りながら、令和5年8月から入居者の面会を時間や人数の制限を緩和し、直接面会としました。

又、人材不足や待機者減少等によりスムーズな新規入居者の受け入れが出来なかったことや重度化の進行等により稼働率が低下しました。

又、福祉教育・福祉人材の育成という観点から、高校の介護実習生・専修学校の看護実習生大学生の臨地実習生等の受け入れを積極的に行いました。

昨今のますます厳しくなる人材不足に対応するため、いちき串木野市が進める「外国人留学生

に対する支援事業」を活用し、神村学園専修学校日本語学科で留学生として日本語を学び、卒業後は、特養潮風園で特定技能介護職員として働くことになるミャンマー人女性2人の受け入れを進めました。

現地での留学生の選考や入国管理局へのビザ申請、神村学園との調整等はコンサルティング会社である株式会社NEO SEEDに業務委託し、進めております。

二人は既に4月5日入学式を終え、4月15日から潮風園でアルバイト中であります。

短期入所生活介護事業(ショートステイ)では、特養の入居ユニットにおいて職員の退職による人員不足や新型コロナウイルス感染症が発生し、ショート職員が応援に入ったためショートユニットの閉鎖や利用者の受け入れ制限を余儀なくされ、利用率の低下を招くこととなりました。

しかし、一方で令和5年度は高齢者の夫婦世帯で家族の入院により11件の緊急のショート利用に対応いたしました。

1. 介護老人福祉施設 (定員90名)

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ人数	31,816	32,197	△ 381
ベッド稼働率	96.59	98.01	△ 1.42
3月末平均介護度	4.17	4.30	△ 0.13
新規入居者	25	24	1
退居者	24	24	0

2. 短期入所生活介護事業(定員10名)

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ人数	1,823	1,690	133
ベッド稼働率	49.80	46.30	3.50
年間送迎回数	778	646	132
1日平均利用者	4.98	4.63	0.35

デイサービス

デイサービスでは、一人ひとりの利用者が可能な限り住み慣れた自宅や地域で自立した生活を営むことができるよう支援して参りました。

各種の健康器具を活用した筋力の低下防止やレクリエーションを工夫することで利用者のADLの維持向上に努めて参りました。

又、チラシ等を作成し利用者増に努め14名の新規登録がありました。

又、6月に八房公民館、12月に福菌公民館においてミニデイサービスを実施し、地域の高齢者との交流や潮風園デイサービスセンターのPR活動を行いました。

1. 通所介護事業 営業日数 251日

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ人数	4,288	3,795	493
1日平均利用者	17.15	15.12	2.03

2. 介護予防・日常生活支援総合事業

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ人数	520	619	△ 99
1日平均利用者	2.08	2.46	△ 0.38

支援センター

在宅介護支援センターは、市の委託を受け、要援護高齢者等の実態把握調査を実施しました。うち、7件の困難事例については、地域包括支援センターの職員と訪問し問題解決を図って参りました。

実態把握調査

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ件数	710	963	△ 253

居宅介護支援事業所は要介護者が自らの意思に基づき自立した生活をおくることができるよう支援して参りました。

又、事業所内研修や市内4事業所との合同スキルアップ研修を定期的に行い、利用者の自立支援に資する質の高いケアプランの作成に努めて参りました。

そのほか、身体拘束廃止・虐待防止等については、特養の委員会に参加し、利用者の人権擁護の推進を図って参りました。

ケアプラン作成、給付管理

項目	令和5年度	令和4年度	比較
年間延べ件数	1,081	1,081	0